



左岸から見た車両用仮設西宝橋



右岸から見た人道用仮設西宝橋と左岸仮設車道



第8堰の断流状態 5月17日撮影



堰直下床止め工に取り残され干からびたナマズ



作業台撤去が進む右岸側南部橋架け替え工事現場



左岸から見た南部橋架け替え工事現場

青葉台地区の瀬変え工事は終了した模様。左岸寄りの河床掘削が行われ両岸は低水護岸の様相を呈し相当風景が変わった。流れが変わったことがアユ棲息環境にどのように影響を及ぼすのか分からず注目していきたいが、川に近づくとアプローチ探しが目下の課題。

アユ遡上が見込める4月～5月下旬にかけて降水量が少なく4月30日少しまとまった降雨があったものの5月17日時点の8号堰は断流状態で干からびたナマズの姿があった。田植え前で百間樋では全流井水路側に流れ、一部本流に戻された水も六樋側に流れ、その下流にある8号堰は断流状態になっていた。仁川からの流れは無いものの川西川は流れがあり7号堰から下流は川西川の流量相当分が流れていた。(湧水調査参照)

南部橋架け替え工事は真新しい橋脚がくっきり見えるようになり、作業衣足場撤去と矢板抜き工事が進み、豊水時期までには新しい後脚だけになるだろう。

矢板抜き工事現場でお会いした作業員の方が「綺麗に写真撮って置いて欲しい。我々の仕事はあとに残らない。誰かが記録に残してくれたら嬉しい」と漏らしていた。工事に関わってきた人の想い入れを受け止め大事にしたい。